

労働力調査（詳細集計） 平成23年平均（速報） 全国（岩手県，宮城県及び福島県を除く） （結果の要約）

－ 留意事項 －

- ・労働力調査では，平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により，岩手県，宮城県及び福島県において調査実施が一時困難な状況となりました。これに伴い，詳細集計においては，同年1～3月期平均結果から7～9月期平均結果までは当該3県※を除く全国の結果を公表することとしたため，平成23年平均についても，当該3県を除く全国の結果を公表します。

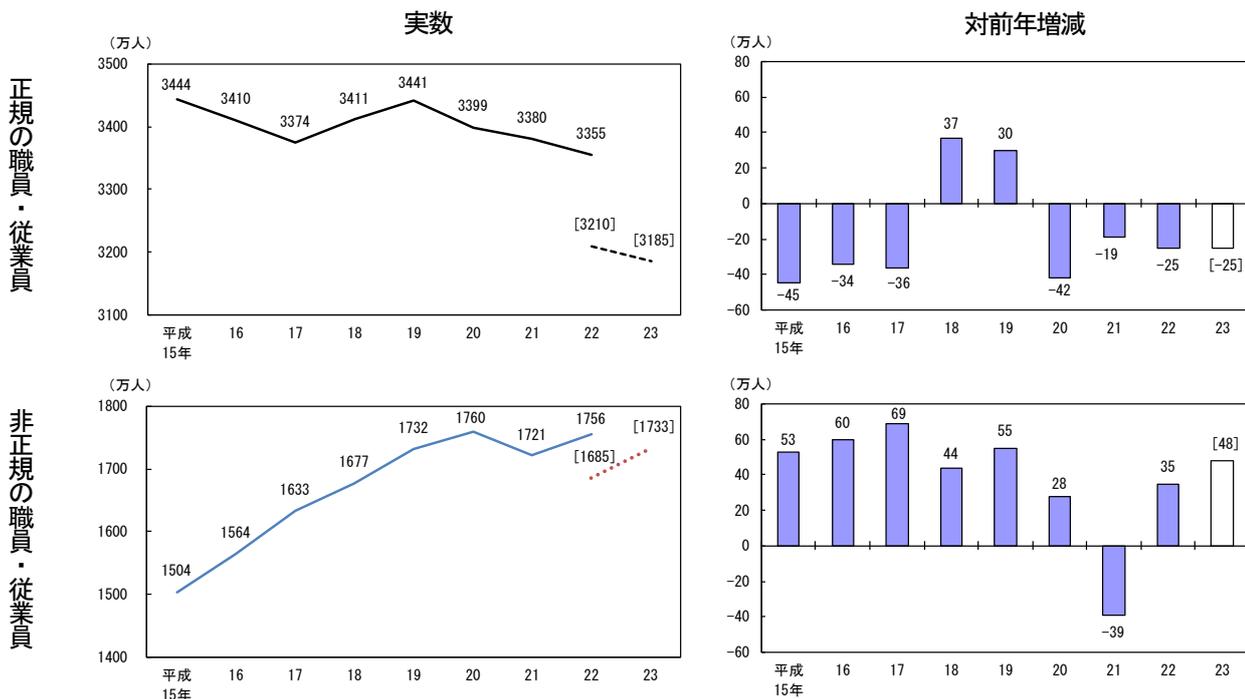
※当該3県における15歳以上人口は，約500万人です。

- ・前年（平成22年）との比較の際には，前年の値として，遡及集計した当該3県を除く全国の22年の数値を用いています。
- ・図表においては，平成23年及び22年の当該3県を除く全国の結果は[]を付して掲載し，あわせて22年以前の全国の結果（当該3県を含む結果）も掲載しています。

1 平成23年平均の雇用者（役員を除く）（4918万人）のうち，正規の職員・従業員は3185万人と，前年に比べ25万人減少。非正規の職員・従業員は1733万人と，48万人増加

（→「本文」1，2ページ）

図1 正規，非正規の職員・従業員の推移



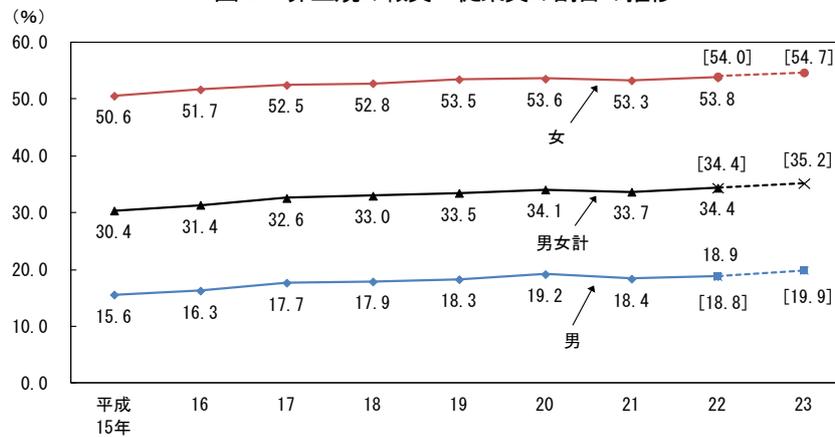
	(非正規の職員・従業員数の主な内訳)	(非正規の職員・従業員数)	(対前年増減)
{	パート・アルバイト	1181万人と	33万人増加
	契約社員・嘱託	340万人と	27万人増加
	労働者派遣事業所の派遣社員	92万人と	同数

（→「本文」3ページ）

・雇用者（役員を除く）に占める非正規の職員・従業員の割合は、平成23年平均で35.2%となり、前年に比べ0.8ポイントの上昇。男女別にみると、男性は19.9%と1.1ポイントの上昇、女性は54.7%と0.7ポイントの上昇

(→「本文」2ページ)

図2 非正規の職員・従業員の割合の推移

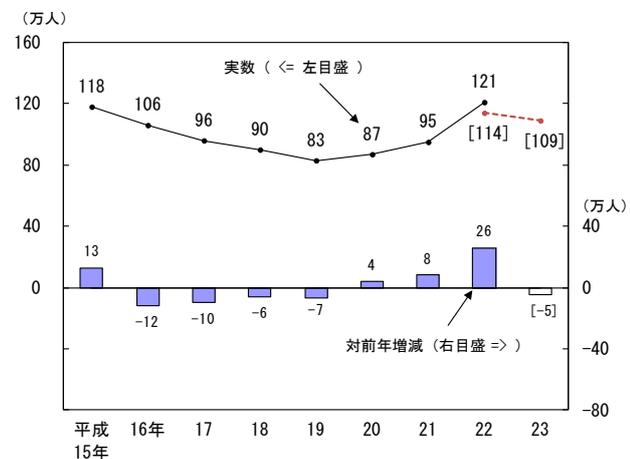


2 平成23年平均の完全失業者 (284万人) のうち、失業期間が1年以上の完全失業者は109万人と、前年に比べ5万人減少

(→「本文」11ページ)

(失業期間別)	(完全失業者数)	(対前年増減)
3か月未満	84万人と	6万人減少
3～6か月未満	40万人と	8万人減少
6か月～1年未満	43万人と	12万人減少
1年以上	109万人と	5万人減少

図3 失業期間が1年以上の完全失業者の推移



3 平成23年平均の非労働力人口のうち就業希望者で、「今の景気や季節では仕事がありそうにない」ため求職活動をしていなかった者は20万人と、前年に比べ4万人減少

(→「本文」29ページ)